



学校だより

板橋区立板橋第六小学校

5月号

校長 本間 篤子

令和6年4月30日

「挨拶」

副校長 藤間 誉士夫

今年度も1ヵ月が過ぎました。美しく咲いていた桜も散り、木々の若葉が萌えはじめる新緑の美しい季節となりました。入学、進級の喜びを味わいながら、希望に満ちた学校生活をスタートできた児童の様子がうかがえ嬉しく思います。

さて、4月5日の着任式で、私から「4月に入って、板橋第六小学校に一步踏み入れた時、まだ児童に紹介されていない私に挨拶をしてくれた1人の児童がいました。」という話を前置きに、その時の気持ちと板橋第六小学校の児童の素晴らしさを今後も大切にしたいということをお話しました。その後、校内を回っていると児童自ら気持ちの良い挨拶をしています。なかには、頭を下げる児童もいます。

そもそも『挨拶』の漢字には、人と人が出会い、お互いの心を開いて相手に迫っていく意味があるそうです。そして良好な人間関係を築くための一歩でもあると言われています。そのように考えると学校での集団生活の場では、学級・学年の友達をはじめ異学年同士、多くの仲間と交流を深めながら人間関係を築いていく場であると思います。そのために「挨拶」は欠かすことのできないものです。挨拶によって、誰とでも友達になれ、笑顔にもなれます。

将来、社会に出て立派に自立して豊かな生活を送る上でもコミュニケーション能力は必要不可欠です。良好な人間関係を築く力になります。その基盤作りの1つに挨拶があると考えます。

まもなく5月の連休に入ります。連休明けによりよい自分づくりに、学びづくりに、学校づくりに挑戦していけるよう、お子様が休みの間たっぷり充電できることを願っています。そして、5月25日には、学習発表会（体育科）が行われます。児童の体力面や気候等を配慮して午前中のみとなりますが、児童一人一人が達成感を味わえるような内容を教員は考えています。引き続き、お子様の頑張りを励ましていただくようよろしくお願いいたします。